

やまぐち森林づくり推進協議会

会議資料

平成 31 年 3 月 13 日

山口県農林水産部 森林企画課・森林整備課

目 次

◆ 森林づくり県民税関連事業の実施状況等について

資料 1

◆ 今後の森林整備のあり方について

資料 2

◆ 山口ゆめ花博「2050年の森」ゾーンにおける取組について

資料 3

森林づくり県民税関連事業の実施状況等について

1 経緯

手入れが行き届かず荒廃が深刻化する森林を、健全な姿で次の世代へ引き継ぐため、平成 17 年度から、森林づくり県民税を導入しており、来年度は、第 3 期対策（H27 年度～H31 年度）の最終年度となる。

2 税制度の概要

区 分	概 要		
課税方式	県民税均等割の超過課税方式		
課税対象	個人：県内に住所がある方、県内に事務所、事業所又は家屋敷を持っている方 法人：県内に事務所、事業所を持っている法人等		
税 額	個人：年額 500 円 法人：年額 1,000 円～40,000 円（県民税均等割額の 5 割相当額）		
	資本金等の額	県民税均等割額	5 割相当額
	50 億円超	800,000 円	40,000 円
	10 億円超～50 億円以下	540,000 円	27,000 円
	1 億円超～10 億円以下	130,000 円	6,500 円
	1 千万円超～1 億円以下	50,000 円	2,500 円
	1 千万円以下	20,000 円	1,000 円

3 主要事業の実施状況

区 分	全体事業費	間伐面積	伐竹面積
第 1 期対策（H17～H21）	1,914 百万円	2,516ha (2,500ha)	438ha (300ha)
第 2 期対策（H22～H26）	2,001 百万円	1,989ha (2,000ha)	626ha (600ha)
第 3 期対策（H27～H31）※ 見込み	2,042 百万円	2,002ha (2,000ha)	361ha (350ha)
計	5,957 百万円	6,507ha (6,500ha)	1,425ha (1,250ha)

（ ）内数値は計画量

4 平成31年度事業計画（案）について

区分		平成30年度 計画	平成31年度 計画（案）	5年間の 整備目標
森林活力再生事業		316,825 千円	333,053 千円	
森林機能回復事業 (実施主体：森林所有者等)	荒廃した人工林の強度間伐を実施し、森林機能の回復を図る	395 ㏄ ター	400 ㏄ ター	2,000 ㏄ ター
		185,564 千円	191,150 千円	
繁茂竹林整備事業 (実施主体：県)	繁茂竹林の伐採と再生竹の除去により自然林への回復を誘導	70 ㏄ (257 ㏄ ター)	70 ㏄ (214 ㏄ ター)	350 ㏄ ター
		131,261 千円	141,903 千円	
地域が育む豊かな森林づくり推進事業				
中山間地域対策 (実施主体：市町等)	中山間地域の元気を創出する里山の整備を推進	80,000 千円	80,000 千円	
地域森林づくり活動強化対策事業				
森林環境ボランティアリーダー養成事業 (実施主体：県)	中核となる指導者の確保・育成	8,000 千円	8,000 千円	
県民参加の森林づくり推進事業 (実施主体：県)	森林の果たす役割や県民税関連事業に関する普及啓発活動	5,000 千円	5,000 千円	
事業費計		409,825 千円	426,053 千円	

※繁茂竹林整備事業の（ ）内数値は再生竹除去面積である。

【平成31年度財源内訳】

平成31年度税収見込額 (a)	平成29年度剰余金 (b)	平成31年度事業費充当額 (a+b)
407,000 千円	19,053 千円	426,053 千円

5 森林の整備等を目的とする独自課税の導入状況一覧

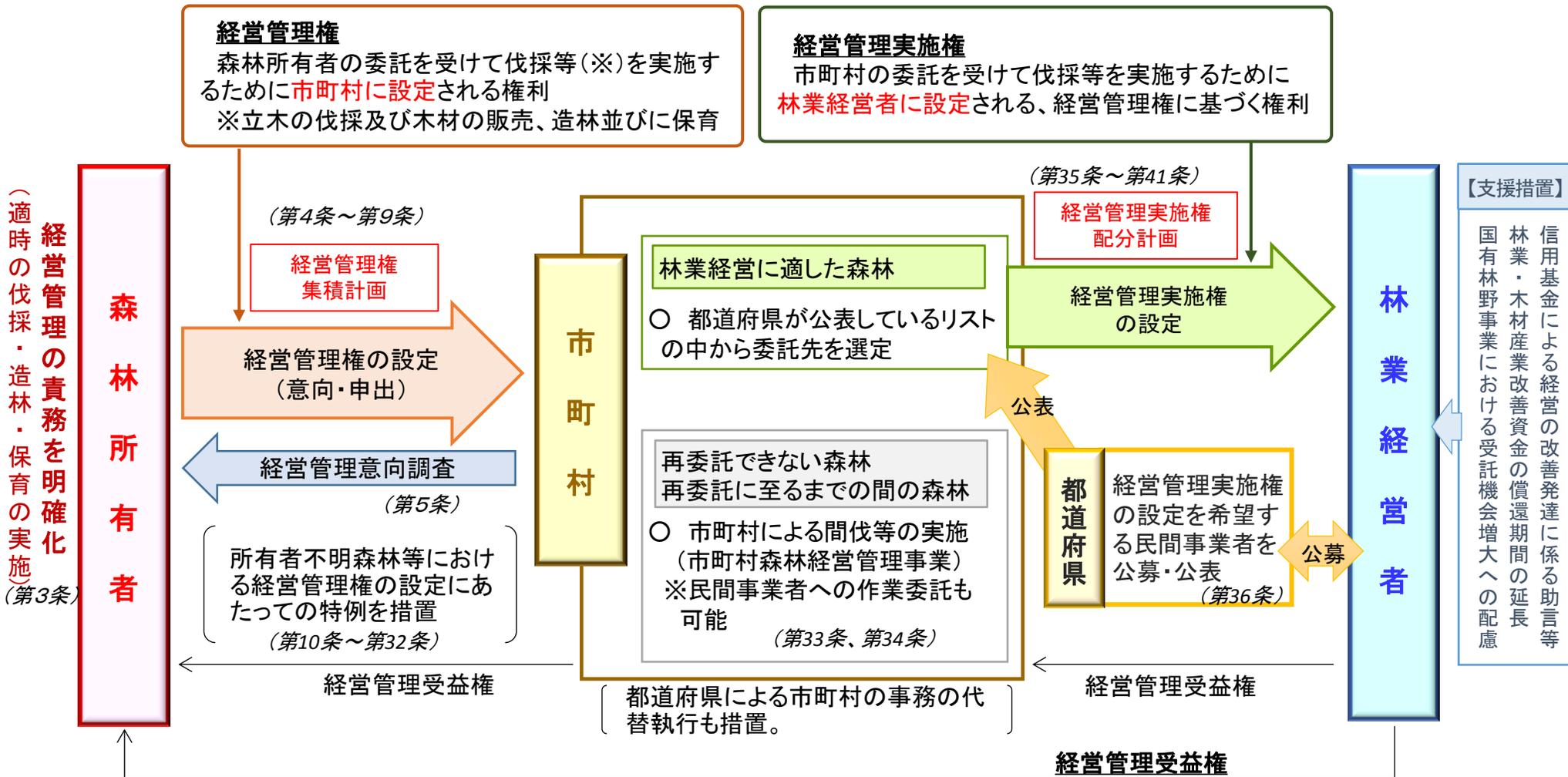
No.	府県名	税の名称(通称)	導入年度	課税額 (個人/年)	税収額 (億円)
1	高知県	森林環境税	H15	500円	1.7
2	岡山県	おかやま森づくり県民税	H16	500円	5.6
3	山口県	やまぐち森林づくり県民税	H17	500円	4.0
4	鳥取県	森林環境保全税	H17	500円	1.8
5	島根県	島根県水と緑の森づくり税	H17	500円	2.0
6	愛媛県	森林環境税	H17	700円	5.4
7	熊本県	水とみどりの森づくり税	H17	500円	4.7
8	鹿児島県	森林環境税	H17	500円	4.3
9	岩手県	いわての森林づくり県民税	H18	1,000円	7.0
10	福島県	森林環境税	H18	1,000円	10.8
11	静岡県	森林(もり)づくり県民税	H18	400円	9.6
12	滋賀県	琵琶湖森林づくり県民税	H18	800円	6.5
13	兵庫県	県民緑税	H18	800円	24.0
14	奈良県	森林環境税	H18	500円	3.6
15	大分県	森林環境税	H18	500円	3.2
16	宮崎県	森林環境税	H18	500円	3.0
17	山形県	やまがた緑環境税	H19	1,000円	6.5
18	神奈川県	水源環境保全・再生のための個人県民税	H19	300円+所得割	39.6
19	富山県	水と緑の森づくり税	H19	500円	3.7
20	石川県	いしかわ森林環境税	H19	500円	3.7
21	和歌山県	紀の国森づくり税	H19	500円	2.7
22	広島県	ひろしまの森づくり県民税	H19	500円	8.6
23	長崎県	ながさき森林環境税	H19	500円	3.8
24	秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	H20	800円	4.5
25	茨城県	森林湖沼環境税	H20	1,000円	16.0
26	栃木県	とちぎの元気な森づくり県民税	H20	700円	8.5
27	長野県	長野県森林づくり県民税	H20	500円	6.6
28	福岡県	森林環境税	H20	500円	13.5
29	佐賀県	佐賀県森林環境税	H20	500円	2.4
30	愛知県	あいち森と緑づくり税	H21	500円	22.0
31	宮城県	みやぎ環境税	H23	1,200円	16.0
32	山梨県	森林及び環境保全に係る県民税	H24	500円	2.7
33	岐阜県	清流の国ぎふ森林・環境税	H24	1,000円	12.1
34	群馬県	ぐんま緑の県民税	H26	700円	8.2
35	三重県	みえ森と緑の県民税	H26	1,000円	10.5
36	京都府	豊かな森を育てる府民税	H28	600円	6.1
37	大阪府	森林環境税	H28	300円	11.3

未導入の都道府県：北海道、青森県、千葉県、東京都、埼玉県、新潟県、福井県、徳島県、香川県、沖縄県

今後の森林整備のあり方について

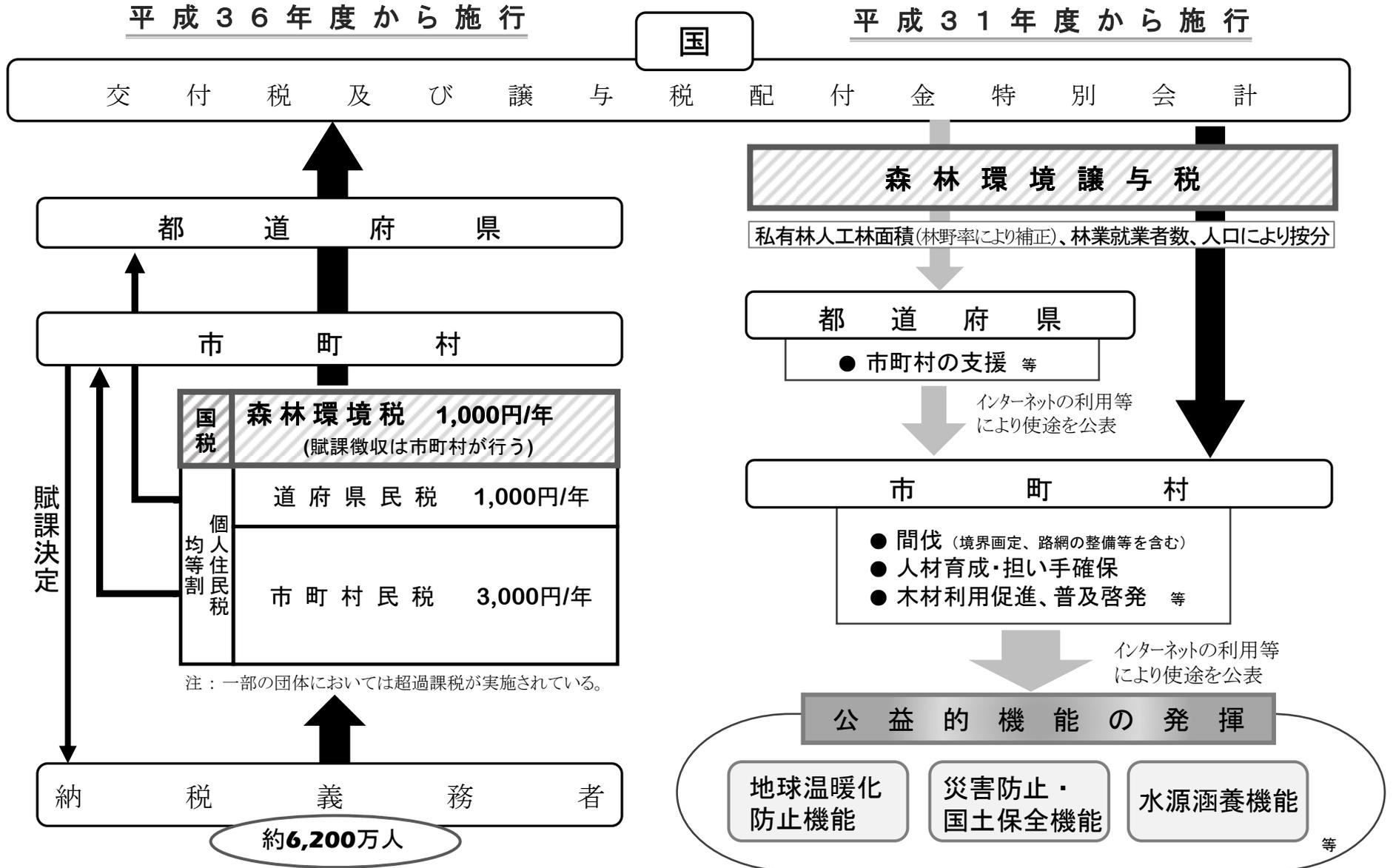
- 森林経営管理制度
- 森林環境税及び森林環境譲与税
- 森林整備に関する基本的考え方

森林経営管理制度（森林経営管理法）の全体概要



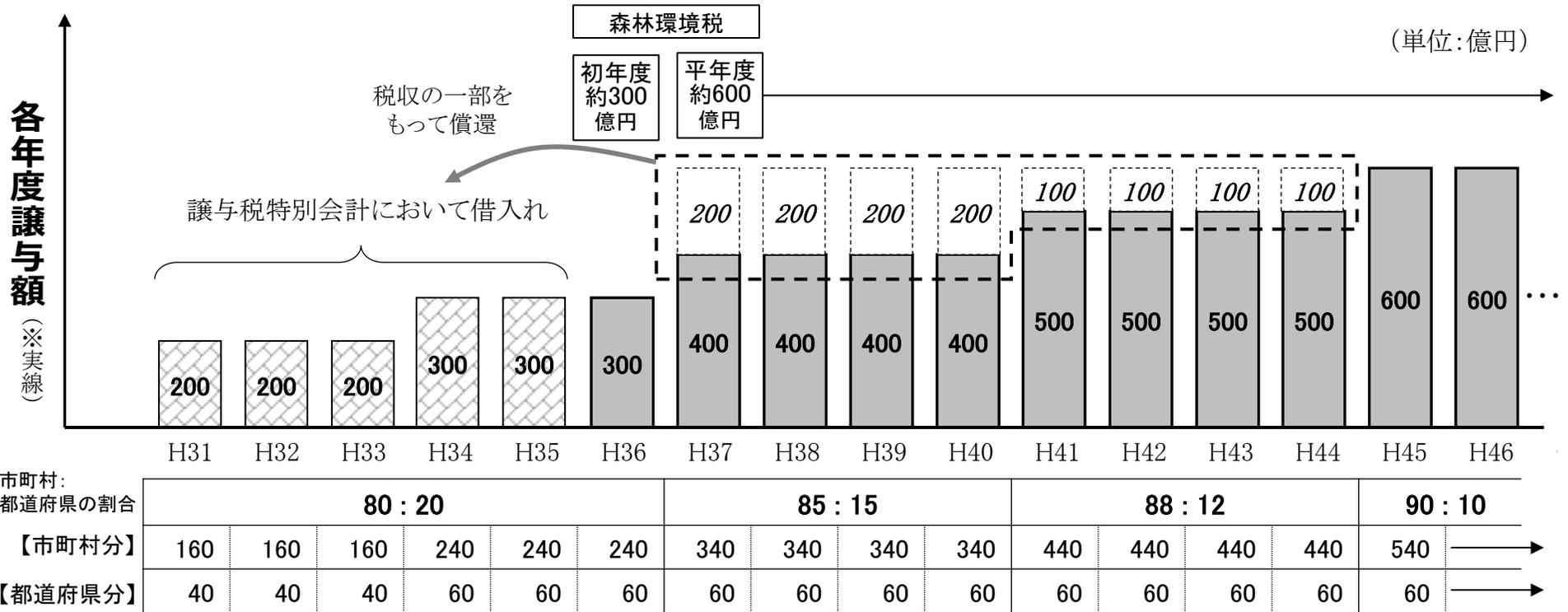
森林環境税及び森林環境譲与税の制度設計イメージ

森林整備等のために必要な費用を、国民一人一人が広く等しく負担を分任して森林を支える仕組み



森林環境譲与税の各年度の譲与額と市町村及び都道府県に対する譲与割合及び基準

- 市町村の体制整備の進捗に伴い、譲与額が徐々に増加するように借入額及び償還額を設定。
- 森林整備を実施する市町村の支援等を行う役割に鑑み、都道府県に対して総額の1割を譲与。
(制度創設当初は、市町村の支援等を行う都道府県の役割が大きいと想定されることから、譲与割合を2割とし、段階的に1割に移行。)
- 用途の対象となる費用と相関の高い客観的な指標を譲与基準として設定。



市町村: 都道府県の割合	80 : 20					85 : 15					88 : 12				90 : 10	
【市町村分】	160	160	160	240	240	240	340	340	340	340	440	440	440	440	540	→
【都道府県分】	40	40	40	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	→

- 市町村分
- 50% : 私有林人工林面積 (林野率により補正)
 - 20% : 林業就業者数
 - 30% : 人口
- 都道府県分
- 市町村と同じ基準

※税収は粗い見込み値であり、計数全般について借入金利子を勘案していない。
 ※課税開始初年度である平成36年度は、市町村への納付・納入が行われるのが6月以降であり、都道府県を経由して国の譲与税特別会計に払い込まれるまで時間を要すること等から、平年度化後の税収(約600億円程度)の概ね半分の約300億円の譲与額となることが見込まれる。

森林整備に関する基本的考え方

私有林かつ人工林面積(森林経営管理法に基づく経営管理権の集積が想定される森林) 約11万㍍

I 道路から遠く採算の見込めない森林

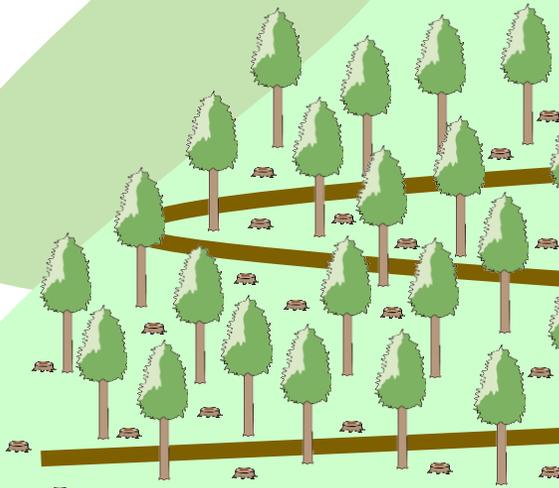


森林づくり県民税

II 道路から近く採算の見込める森林

i 既集積されている森林

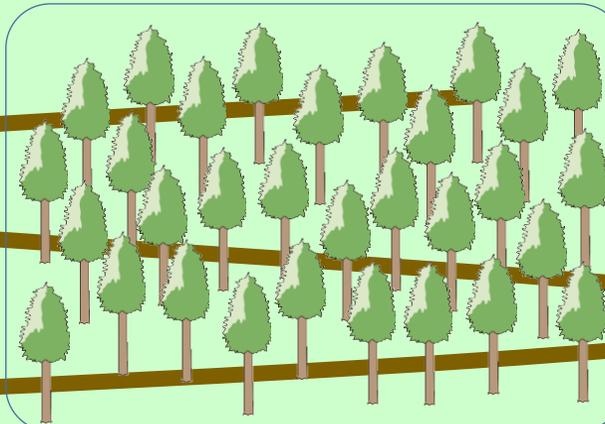
(森林経営計画作成済の森林)



造林事業(国庫補助)

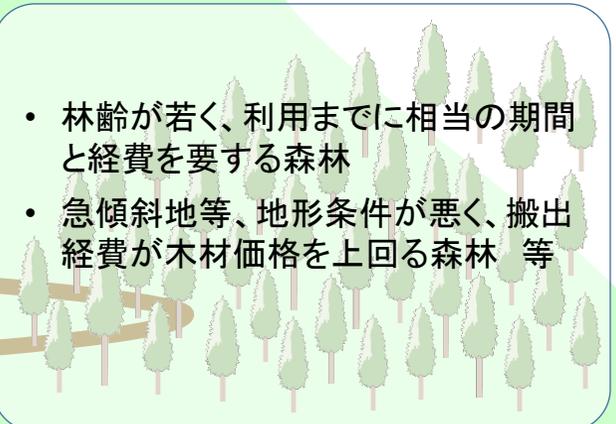
ii 森林経営管理法に基づき経営管理権の集積を進める森林

ア 収益が見込まれる森林
意欲と能力のある林業経営者に
経営管理を再委託



造林事業(国庫補助)

イ 再委託できない森林等
市町自らが間伐等を実施
(市町村森林経営管理事業)



- 林齢が若く、利用までに相当の期間と経費を要する森林
- 急傾斜地等、地形条件が悪く、搬出経費が木材価格を上回る森林 等

森林環境譲与税

※ 所有者不明や地籍調査未了等により当面集積が見込めない森林は、森林環境譲与税により境界明確化等を実施

山口ゆめ花博

2050年の森ゾーンにおける取組

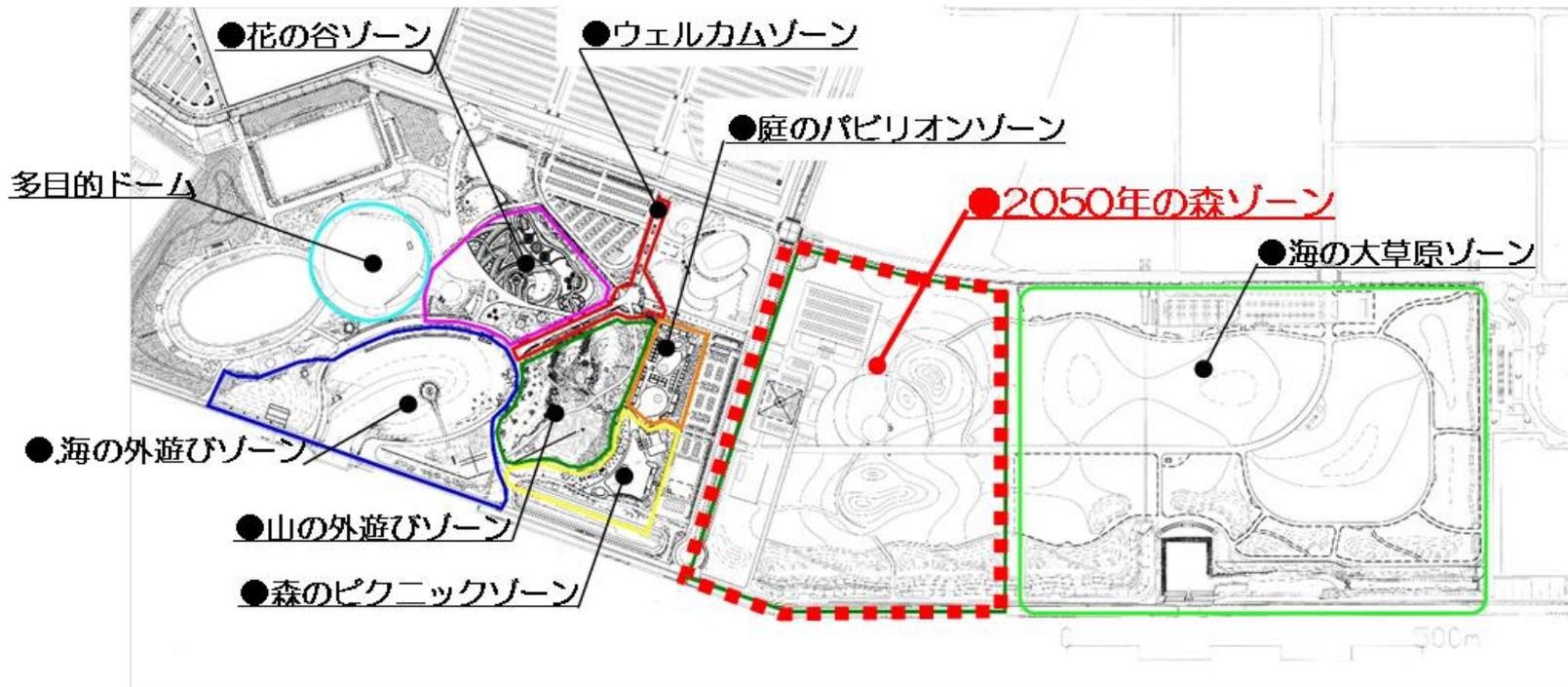


平成31年(2019年)3月13日
山口県 森林企画課



1 出展の主旨

○山口きらら博記念公園の一部である「2050年の森ゾーン」は、平成24年5月に開催された第63回全国植樹祭において植樹等が行われた場所です。



山口ゆめ花博の会場図

○多くの方が木の成長を観察し、森になっていく姿を身近に体感することができます。



全国植樹祭の一般植樹等の様子(H24)



山口ゆめ花博開催前の様子(H30)

○2050年の森ゾーンは、花博を機に一般開放されました。
開会前に草刈をしました。



草刈前



草刈後

2 出展内容

○趣旨

「きらら浜」の干拓から全国植樹祭までの歴史の紹介や、森の将来を子どもと大人が考えることのできる展示・体験イベントを通じて、森林・林業の理解促進を図るとともに、県民との協働による森林づくりを推進

①きららの森ステーション

出展者：県

内 容：森林・林業の魅力を発信する展示・体験
森林・林業関係団体の出展支援

期 間：台風による中止を除く48日

②きららの森フェスタ

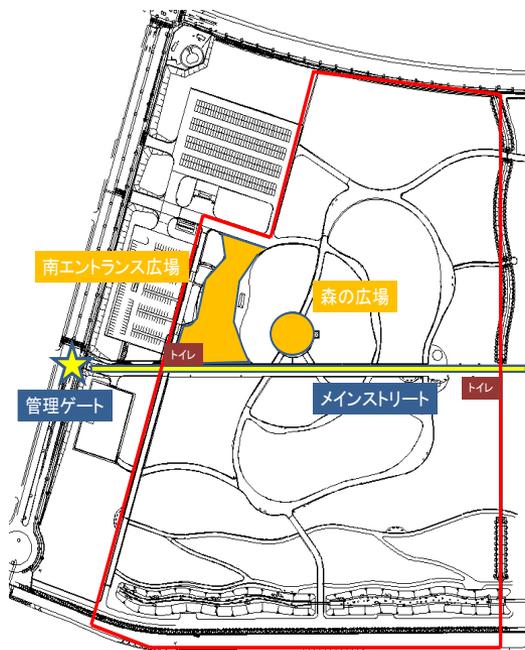
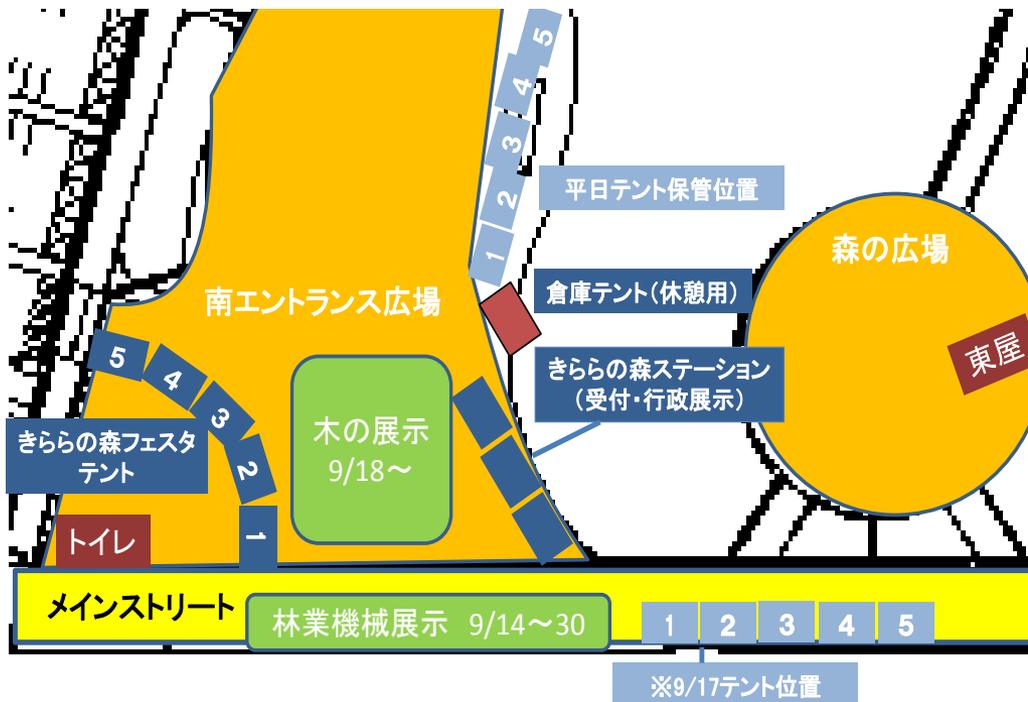
出展者：地域林業研究グループ等36団体

内 容：木や竹、花などを使った体験など55のイベントを実施

期 間：台風による中止した3日を除いた17日間（土日祭日）

3 会場レイアウト

○出展内容に対応して会場レイアウトを臨機応変に変えました。



4 きららの森ステーション》

①受付・案内

2050年の森ゾーンで行っている森林・林業の展示の紹介や、クイズラリー、きららの森ウォークの受付等を行いました。



受付の様子

②パネル展示

やまぐち森林づくり県民税や山口県の森林・林業の取組を紹介するパネル展示を行いました。

- ・全国植樹祭の紹介
- ・木材の利用
- ・森で働く人、高校生の取組 など



やまぐち森林づくり県民税等の紹介

③木の生長展示

50年生を超えるスギ・ヒノキ・アカマツの大きさを
知っていただくため、根元から先端部分までを2年生
の苗木と並べて展示しました。



④木の年輪展示

50年生を超える山口県を代表する広葉樹(コナラ、クスノキ、ケヤキ、サクラ)と、アカマツの切り株を、樹皮や年輪等の特徴を記載した木製の説明版と一緒に展示しました。



⑤ 林業機械の展示

日ごろ目にする事のない林業機械4台（プロセッサ、ザウルスロボ、グラップル、フォワーダ）の展示を行い、森での仕事や林業への関心を高めてもらいました。



⑦丸太切体験

木の感触やノコギリの使い方を知っていただきました。



⑧竹を使った遊び

タケウマやタケボックリで竹の感触を楽しんでいただきました。



⑨ やまりんと記念撮影

花博のメインキャラクターやまりんと記念撮影をしました。



⑩ やまりんの モザイクアート

山口県立大学の学生の協力を得てやまりんの巨大モザイクアートを作成しました。



⑪「2050年の森づくり」

2050年の森に親しんでいただくため、森林ボランティアの協力を得て樹木観察教室と樹名板づくり、スギの葉を使ったゴジラづくりを行いました。

①樹木教室と樹名板づくり



②スギの葉を使ったゴジラづくり



5 きららの森フェスタ

○県内各地域の林研グループや森林ボランティア等の森林・林業関係団体の協力のもと、木や竹等の森の恵みを使ったクラフト体験などで楽しんでいただきました。



木エクラフト体験



木の工作教室





木の枝や木の実を使った工作教室



寄せ植え体験



押花体験



竹炭ペンダントづくり





バランスストーンづくり



木製ストラップづくり



木製遊具遊び



シイタケの駒打ち体験





チェーンソーアートショー



水素自動車の展示



緑の募金



○樹木観察会や昆虫教室など自然について学びました。



6 この他の取組（開催前）

○花博の開催を広く周知し、県民参加を促進するため、ボランティアリーダー研修会等において、参加・協力を呼びかけました。



○花博関連イベントの「里山フェス（美祢市）」において、緑化フェアの共催や竹コースターの試作・試乗に協力しました。



○萩商工高等学校(建築コース)と連携した県産木材を使った東屋(2棟)を製作・設置しました。



○繁茂竹林整備事業(県民税事業)で伐採した竹を「日本一の竹コースター」の作成に提供することに協力しました。



○竹林ボランティアの方に竹灯籠を作成していただき、県内宿泊施設等へ配布し、花博の開催機運の向上に努めました。



○また、竹コースターの周りを飾る竹プランターを作成していただきました。



7 今後の取り組み

○2050年の森ゾーンを活用した県民参加の森づくり活動の更なる促進を図ります。

- 山口ゆめ花博の「2050年の森」は、身近に木の成長を体感できる場所です。
花博期間中は、地域林業研究グループ等から出展していただき、多くの来場者に森林や木に親んでいただきました。
- 県内森林ボランティア等の活動意欲や、来場者の森林や木への関心の高まりがみられました。
- 森林の働きや森林整備の必要性等への理解醸成や、森林づくりへの参加を促進し、県民参加の森林づくりを推進・拡大します。

